

平成28年4月期経営状況概要

(単位：千円)

項目	予算額 (繰越金)	当月執行額	執行累計額	執行率	執行残高	執行+支出負担	対予算比
8. 水道事業収益	2,698,040	193,451	193,451	7.2%	2,504,589		
1. 営業収益	2,302,614	187,383	187,383	8.1%	2,115,231		
1. 給水収益	2,271,024	186,621	186,621	8.2%	2,084,403		
2. 受託工事収益							
3. その他営業収益	31,590	762	762	2.4%	30,829		
2. 営業外収益	395,043	6,068	6,068	1.5%	388,975		
3. 特別利益	383				383		
9. 水道事業費用	2,560,833	27,358	27,358	1.1%	2,533,475	519,887	20.3%
1. 営業費用	2,294,512	27,268	27,268	1.2%	2,267,244	519,428	22.6%
1. 原水及び浄水費	467,911	12,169	12,169	2.6%	455,742	233,571	49.9%
2. 配水費	297,643	6,646	6,646	2.2%	290,997	76,877	25.8%
3. 給水費	106,096	1,272	1,272	1.2%	104,824	21,619	20.4%
4. 受託工事費							
5. 業務費	160,199	1,010	1,010	0.6%	159,189	145,523	90.8%
6. 総係費	176,927	6,171	6,171	3.5%	170,756	41,838	23.6%
8. 減価償却費	1,035,636				1,035,636		
9. 資産減耗費	50,100				50,100		
10. その他営業費用							
2. 営業外費用	244,316	0	0	0.0%	244,316	0	0.0%
3. 特別損失	1,805	89	89	4.9%	1,716	459	25.4%
4. 予備費	20,200				20,200		
10. 資本的収入	2,640,209	1,015	1,015	0.0%	2,639,194		
1. 企業債	1,414,300				1,414,300		
2. 負担金・補償金	290,301				290,301		
3. 補助金	347,554				347,554		
4. 出資金	576,002				576,002		
5. 加入金	12,052	1,015	1,015	8.4%	11,037		
9. その他資本的収入							
11. 資本的支出	3,884,618	2,733	2,733	0.1%	3,881,885	1,337,406	34.4%
1. 建設改良費	3,229,570	2,733	2,733	0.1%	3,226,837	1,337,406	41.4%
1. 取水施設整備費	1,118,656				1,118,656	999,972	89.4%
2. 導水施設整備費	216,540				216,540	205,308	94.8%
3. 浄水施設整備費	109,129				109,129		
4. 送水施設整備費	481,140				481,140		
5. 配給水施設整備費	1,301,081	2,733	2,733	0.2%	1,298,348	132,126	10.2%
6. 消防設備整備費	3,024				3,024		
2. 企業債償還金	655,048				655,048		
12. たな卸し資産購入限度額	57,365	534	534	0.9%	56,831	534	0.9%
①有収水量	8,000,000	647,471	647,471	8.1%	7,352,529		
②供給単価	283.88	288.23	288.23	101.5%	△ 4.35		
③給水原価	258.40	42.12	42.12	16.3%	216.28		
人件費	241,631	14,668	1,053	0.4%	239,038		
1. 収益的収支	202,631	11,971	1,053	0.5%	200,038		
1. 職員給与費	200,572	11,971	1,053	0.5%	199,528		
2. 特別職 (報酬、賃金等)	2,059				2,059		
2. 資本的収支	39,000	2,697	2,697	6.9%	36,303		
* 職員給与費	239,572	14,668	1,053	0.4%	238,528		
職員給与費対給水収益							
1. 損益勘定職員	8.8%	6.4%	0.6%				
2. 全職員	10.5%	7.9%	0.6%				

合計残高試算表	A期首	B当月	C=B-A	備考
A. 固定資産	43,059,091	43,061,820	2,729	
*減価償却累計額	18,174,387	18,174,387		
B. 流動資産	3,658,830	3,014,368	△ 644,463	
1. 現金預金	2,796,809	2,660,400	△ 136,409	
2. 未収金	820,666	297,120	△ 523,546	
3. 貸倒引当金	△ 500	△ 500		
4. 貯蔵品	33,973	30,723	△ 3,251	
5. 前払費用・前払金	190	25,257	25,067	工事前払金等
6. その他		867	867	仮払消費税
D. 水道事業費用		26,535	26,535	
1. 営業費用		26,452	26,452	
2. 営業外費用		0	0	
3. 特別損失		83	83	
1. 借方合計=A+B+C+D	50,118,489	49,503,289	△ 590,133	
E. 固定負債	11,281,820	11,281,820		
1. 企業債	10,994,615	10,994,615		
2. 引当金	287,205	287,205		
F. 流動負債	1,547,494	752,044	△ 795,450	
1. 企業債	655,044	655,044		H28年度償還元金
2. 未払金	825,284	4,188	△ 821,096	
3. 前受金	112	108	△ 4	
4. 引当金	55,109	55,109		・賞与引当金・修繕引当金
5. 資本的収入整理勘定				
6. その他	11,945	37,595	25,650	
うち仮受消費税		14,215	14,215	
G. 繰延収益	9,443,211	9,444,151	940	
1. 長期前受金	9,443,211	9,444,151	940	償却資産に係る財源のうち、補助金、補償金・負担金・受贈財産等
* // 収益化累計額	3,400,567	3,400,567		
H. 資本金	9,340,661	9,340,661		
1. 自己資本金	9,340,661	9,340,661		・固有、繰入 (出資)、組入
2. 借入資本金				=企業債元金→負債勘定へ
J. 剰余金	330,417	330,417		
1. 資本剰余金	22,900	22,900		・非償却資産にかかるもの
2. 利益剰余金	307,517	307,517		
K. 水道事業収益		179,311	179,311	
1. 営業収益		173,559	173,559	
2. 営業外収益		5,752	5,752	
3. 特別利益				
2. 貸方合計=E+F+G+J+K	50,118,489	49,503,289	△ 615,199	

a. 供給単価 (円、銭)	266.88	=給水収益÷有収水量	
b. 給水原価 (円、銭)		原価算入額は受託工事収益、材料売却原価、特別損失を除く	
①実数値	40.85	=原価算入額÷有収水量	当月予算
②シミュレーション	205.59	原価算入額に減価償却費の「経過月数/12」を加えたもの	
c. 施設利用率	76.39%	=一日平均配水量÷施設能力	
d. 有収率	82.87%	=有収水量÷配水量	
e. 流動比率	400.82%	=流動資産÷流動負債	
f. 現金預金比率	353.76%	=現金預金÷流動負債	

* 供給単価、給水原価は損益ベースであること

平成28年 4 月期 業務実績報告書(水道管理課)

一 般 事 項

1 料金調定関係

項 目	単 位	A 当 月 期	B 当年度累計	C 計 画 累 計	D 前年度同月累計	E 対 計 画 比 較	F 対 前 年 比 較
1 調定件数	件	30,715	30,715	30,890	30,676	△175	39
2 調定水量	m ³	618,996	618,996	634,000	639,778	△15,004	△20,782
3 調定料金(税抜)	円	172,797,234	172,797,234	170,500,000	171,575,793	2,297,234	1,221,441
4 口振加入件数	件	25,404	25,404	-	25,460	-	△56

2 給水業務関係

項 目	単 位	A 当 月 期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対 前 年 比 較 (B-C)
5 給水人口	人	81,722	-	82,480	△ 758
6 給水件数	件	30,635	-	30,550	85
7 開栓処理件数	件	655	655	581	74
8 閉栓処理件数	件	349	349	281	68
9 給水工事設計審査	件	79	79	65	14
10 給水工事竣工検査	件	103	103	59	44
11 経年メーター交換	件	42	42	104	△ 62
12 メーター口径変更	件	4	4	2	2
13 月末停止件数	件	1	79	67	12

3 料金徴収関係

項 目	A 当 月 末 未 収 額	B 収 納 率	C 前 年 同 期 未 収 額	D 収 納 率
14 当年度分	185,905,448 円	0.38 %	183,347,287 円	1.05 %
15 過年度分	16,910,581 円	91.27 %	15,457,041 円	91.75 %
16 全 体 (計)	202,816,029 円	-	198,804,328 円	-

4 給水装置工事指定業者(市外1件追加)

迫町	登米町	中田町	豊里町	米山町	南方町	津山町	東和町	石越町	市内計	市外計	合計
20	8	16	12	13	9	8	14	7	107	115	222

5 入札・契約

(左:累計 右:当月)

項目	累計(落札件数/入札件数)		工事請負		設計業務		業務委託		物品購入		その他	
入札件数	13/13	13/13	0/0	0/0	2/2	2/2	3/3	3/3	8/8	8/8	0/0	0/0
契約締結	一般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	指名	10	10	0	0	1	1	1	1	8	8	0
	随契	3	3	0	0	1	1	2	2	0	0	0
合計	13	13	0	0	2	2	3	3	8	8	0	0

※入札中止 当月 0件:累計0件/入札不調 当月 0件:累計 0/入札取消 当月 0件:累計 0件/未契約 0件

6 竣工等検査

検査種類	累 計	当月件数	内 容
竣工検査	0	0	
中間検査	0	0	
合 計	0	0	

7 主な行事・会議

会 議 名	日 時	内 容
部長等連絡調整会議	6日	4月期 事業打合せ等
事業調整会議	7日	第1回 部長等連絡調整会議復命、日程調整
経営分析会議	22日	3月期 経営概況、残高試算表、月報、監査復命
水道事業連絡会議・料金徴収等管理業務委託会議	13日	第1回 業務報告、日程確認、業務打合せ等
安全衛生委員会	12日	第1回 行事計画、日程調整等
水道ブースター会議	-日	
給水拠点設置訓練	20日	第1回 津山総合支所
例月出納検査	26日	3月分 例月出納現金検査
指名委員会	7・21・26日	第1回・第2回・第3回
入札	21日	13件
緊急メールの発出	-日	漏水情報12、水質情報1、破損情報1

特 記 事 項

1. 4月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

ア 収益的収支

当期の給水収益は186,621千円(税込)で、前月期に比べて7,428千円の増で、予算執行率(累計)は8.2%(前年度8.2%)、対前年同月比(税抜)では1,221千円の増となっています。営業収益は手数料収益762千円を含む187,383千円、営業外収益は補償金1,087千円を含む6,068千円となっています。

当期の営業費用は27,268千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、加入金1,015千円のみ執行となっております。

支出は、事務費として2,733千円を執行しています。

ウ たな卸し資産購入限度額

当期は、薬品に534千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 水道事業所初の職員採用

4月1日(金)に登米市となって初めて、水道事業所の新規採用職員(吉田悠地)に管理者(市長)から採用発令が手渡されました。

今後も水道事業における経営力と技術力を確保するため、定数30名を維持する採用計画、育成計画を策定していくとともに、水道における専門知識の習得を基本に、公務員としての広い視野も身につけさせることとしています。

なお、今年度の職員数は昨年度から1名減の28名(再任用職員1名含む)となりました。

(2) 副市長との事務打合せ

副市長2人制となって初めての事務打合せが4月21日(木)、藤井副市長、栗山副市長出席のもと開催されました。水道事業所からは、係長以上の職員が出席し、今年度の主要事業(施設更新計画の策定、下り松ポンプ場築造事業、新田配水池送水管布設事業)についての説明を行いました。その後、保呂羽浄水場を視察しました。

(3) 水道モニター会議を開催

4月22日(金)に第1回水道モニター会議を開催しました。

今年度から新たに2年間の任期でお願いすることから、会議を始める前に布施市長から20名(2名欠席)のモニターの方々へ委嘱状を交付しました。

また、会議については水道事業の概要、今年度の水道事業会計予算、事業概要とモニター活動の概要について説明をおこないました。



水道モニター会議の様子

(4) 指定給水装置工事事業者証を交付

4月15日(金)に所長前で1社に指定給水装置工事事業者証を交付しました。

・(株)ミヤマ・コーケン(大崎市)

(5) 職員会議を開催

第1回職員会議を4月4日(月)に開催しました。水道事業は、地方公営企業法第39条第1項の規定により地方公務員法の適用が一部除外されており、時間外勤務については労働基準法第36条の規定により管理者と職員との間で協定を締結する必要があります。双方で協定内容について協議した結果、協定案は承認され、協定書並びに関係書類を瀬峰労働基準監督署に提出しました。

(6) 資金管理運用委員会を開催

4月12日(火)に資金管理運用委員会を開催し4月15日に満期を迎える2億円の定期預金(仙台銀行登米支店)と4月16日に満期を迎える7億円(みやぎ登米農協とよま支店)について、2億円については引き続き1年間の定期預金(預入先同)に、また7億円については今後の支払い等に対応するため5億円を1年間、2億円を3月の定期預金(預入先同)とすることとしました。

平成28年 4月期 業務実績報告書 (水道施設課)

一 般 事 項

経営分析の状況

◎配水量の状況

(単位: m³)

項 目	A 当月実績	B 実績累計	C 計画累計	D 前年累計	E 比 較	
					対計画 B-C	対前年度 B-D
総取水量	818,270	818,270	778,290	836,001	39,980	-17,731
総配水量	781,276	781,276	755,720	795,632	25,556	-14,356
1 有効水量	694,761	694,761	687,000	692,680	7,761	2,081
(1)有収水量	647,471	647,471	638,200	644,005	9,271	3,466
(2)無収水量	47,290	47,290	48,800	48,675	-1,510	-1,385
2 無効水量	86,515	86,515	68,720	102,952	17,795	-16,437
(1)漏水量	86,410	86,410	68,000	102,871	18,410	-16,461
(2)その他無効水量	105	105	720	81	-615	24
3 有収率	82.87	82.87	84.50	80.94	-1.58	1.93

※当月期の最大配水量は、28日(火)に記録した【29,667m³】です。

◎主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業等の状況	予 算 額 (A)		施 工 中 額 (B)		竣 工 額 (C)		残 額 (D)=A-(B+C)	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	金 額	率%
ア 取水施設整備事業	4	1,118,656	3	999,972	0	0	118,684	89.4%
イ 導水施設整備事業	2	216,540	2	205,308	0	0	11,232	94.8%
ウ 浄水施設整備事業	14	109,129	0	0	0	0	109,129	0.0%
エ 送水管整備事業	1	481,140	0	0	0	0	481,140	0.0%
オ 配給水施設整備事業	71	1,165,263	0	3,704	0	2,699	1,158,860	0.5%

*注1 件数及び金額は工事+委託(事務費・人権費含む)の合計です。

◎毎日検査

※おいしい水の目安 遊離残留塩素0.4mg/L以下

	保呂羽浄水場 F1遊離残留塩素	保呂羽浄水場水系 (測定戸数: 7)	東和町水系 (測定戸数: 9)	石越町水系 (測定戸数: 1)	大萱沢浄水場水系 (測定戸数: 2)
平均	0.57	0.43	0.44	0.47	0.38
最低	0.56	0.30	0.20	0.40	0.30
最高	0.58	0.60	0.70	0.50	0.70

◎登米水道の放射性物質測定結果

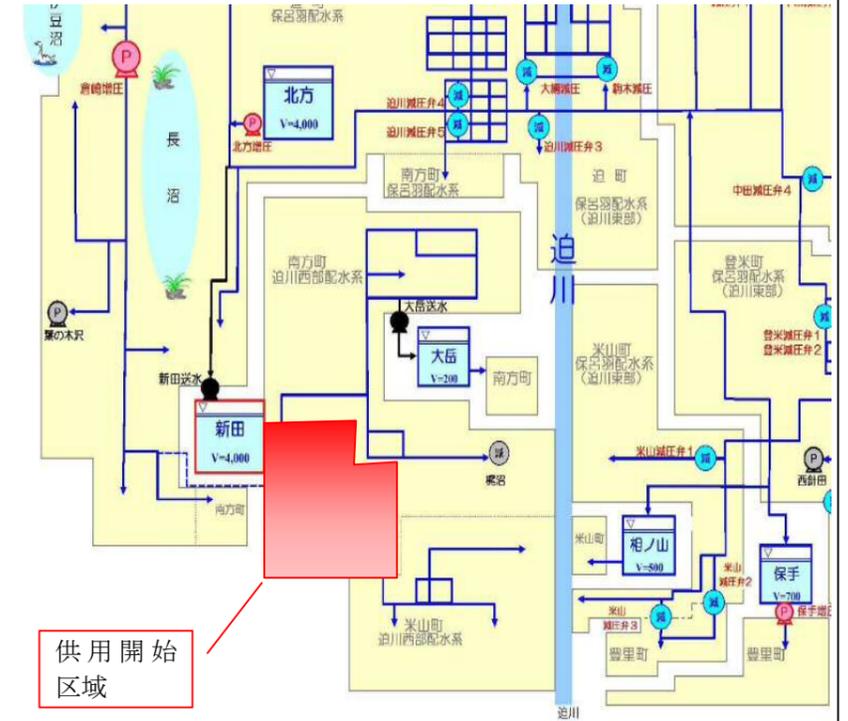
採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)		採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)	
		セシウム134	セシウム137			セシウム134	セシウム137
保呂羽浄水場	H28.4.28	<0.9	<1.0	米谷水系浄水場	—	—	—
石越浄水場	H28.4.28	<0.9	<1.0	楼台水系浄水場	—	—	—
大萱沢浄水場	H28.4.28	<0.8	<0.7	合の木浄水場	—	—	—
米川水系浄水場	—	—	—	大綱木浄水場	—	—	—
錦織水系浄水場	H28.4.28	<0.9	<1.0	—	—	—	—

特 記 事 項

1 新田配水池供用開始

平成26年度に着手した新田配水池関連施設が完成し、4月26日午前零時から、南方町の一部(一ノ曲区、狼掛区、沼崎区、畑岡区、柳沢区の約570戸)を対象に供用開始しました。今年度は、5月~6月にかけて給水区域の拡大(南方町青島区、須崎区、平貝区、畑岡区、苔ノ谷地上・下区の約280戸、米山町栗ヶ崎区、千貫区、瀬ヶ崎区、斉藤区、清水区、城内区、六軒屋敷区の約730戸)を図り、平成28年度は1,580戸を対象に、約1,200m³/日の配水量を予定しています。

平成28年度から施工する新田配水池送水管・配水管布設に伴い更に給水区域を拡大し、震災等緊急時に備え、北方配水池・倉崎増圧ポンプとともに、迫川西部地区の安定給水の拠点施設として供用していきます。



2 石越浄水場において、取水停止及び緊急時災害訓練実施

4月21日石越浄水場点検時に原水においてカビ臭を確認し、取水を停止し保呂羽浄水場からの配水に切替ました。原水を採水し、カビ臭物質検査(21日採水:ジオスミン1.46ng/l、22日採水:ジオスミン1.84ng/l)を実施し通常浄水処理可能(活性炭注入不要)なことから4月26日13時15分に浄水処理運転を再開しました。

運転再開にあたり「浄水施設等管理運転業務」受託者(明電舎・アイ・ケー・エス共同企業体)では新規職員育成のため、併せて緊急災害訓練を実施しました。

訓練は、薬品注入設備の故障不良を想定し実施しました。薬品注入ポンプを停止し、定滴タンクにより凝集剤(ポリ塩化アルミニウム:PAC)を注入し浄水処理する訓練を実施しました。

安定した浄水処理が確保されることも確認しました。今後も、渇水期・増水期等様々な気象条件に併せ訓練を実施します。

3 平成28年4月の漏水調査結果について

4月末の漏水調査の結果2件0.90m³/h(累計)の漏水を発見しています。計画有収率85%を目標に調査を実施します。

4 地震発生状況

平成27年5月13日以来、登米市内における震度4以上の地震は発生していません。

漏水調査結果	施設	件数	漏水量(m ³ /h)
	配水管	1	0.60
	付属施設	0	0.00
	給水管	1	0.30
	計	2	0.90